



みてみて保育実施報告

鈴蘭台北町こども園

みてみて保育とは、日常の保育活動を法人内でお互い見学し、その後、意見交換を行う事により、保育の質の向上や専門性向上を目指す研修方法です。

令和7年6月19日(木)・11月11日(火) 9:30~15:00

ねらい

- ・保育者は、どのように子どもと関わっているか、また発達や興味・関心に合わせたあそびの場の保障のため環境構成の在り方を共有
- ・一人一人の生活リズムに合わせた生活と、丁寧な援助のために環境や保育者間の連携にどのような工夫があるかを検討
- ・個別対応が必要な子どもへの関わり方、また園全体での関わり方等の工夫を見つめる

活動内容

- ・登園や合同活動時の様子、クラス活動の様子を観察する
- ・クラス毎の生活リズムの中で、丁寧な関わりの実践を観察し、今後の取り組みや関わり方の在り方を検討する
- ・園全体の環境を見つめる事で、子どもたちにとって安心安全な環境をリスク管理も含めて観察する

参加者からの評価

- ・発達に応じた玩具や環境構成が整い、子どもが主体的に活動できる保育が行われていた。また、園庭も含めて今ある環境を職員全体で意見を出し合いながら工夫している様子があり、子どもを真ん中においた配慮が感じられる
- ・安全面や生活面への配慮が行き届き、職員の温かい関わりのもと、子どもに合った無理のないプログラムが実践されていた

今後に向けて

- ・様々な現象だけを見るのではなく、その現象下にある子どもの気持ちについて考える事が子ども理解へと繋がり、丁寧な保育にも関係していく事を職員全体で共有する
- ・自分の保育を振り返り、自分の言葉で語ることで、今一度立ち止まって保育を見つめていく事で保育の質の向上を目指していく